

12月の風物詩・・・正月事始め・煤払い(12月13日)

正月事始め(しょうがつことはじめ)は、新しい年に神様を迎えるための諸準備を始める最初の日です。この日から大晦日(おおみそか)までにお正月の準備を整えます。本来12月13日は正月事始めとして、家の竈(かまど)や囲炉裏(いろり)の掃除をして「煤払い(すすはらい)」を行う日でした。掃除や片づけに役立つ本を入口横に置いてあります。参考にして、新しい年を気持ちよく迎えるために、自分の身の回りもきれいにしてみませんか？



お知らせ

- ・ 2学期の貸出 **12月12日(火)まで**
- ・ 返却 **12月14日(木)までに**
- ・ 冬休み用の本の貸出 **返却がすべて終わった学級から**
12月18日(月)・19日(火)・20日(水)の間
一人5冊(2023購入本は1人2冊まで)

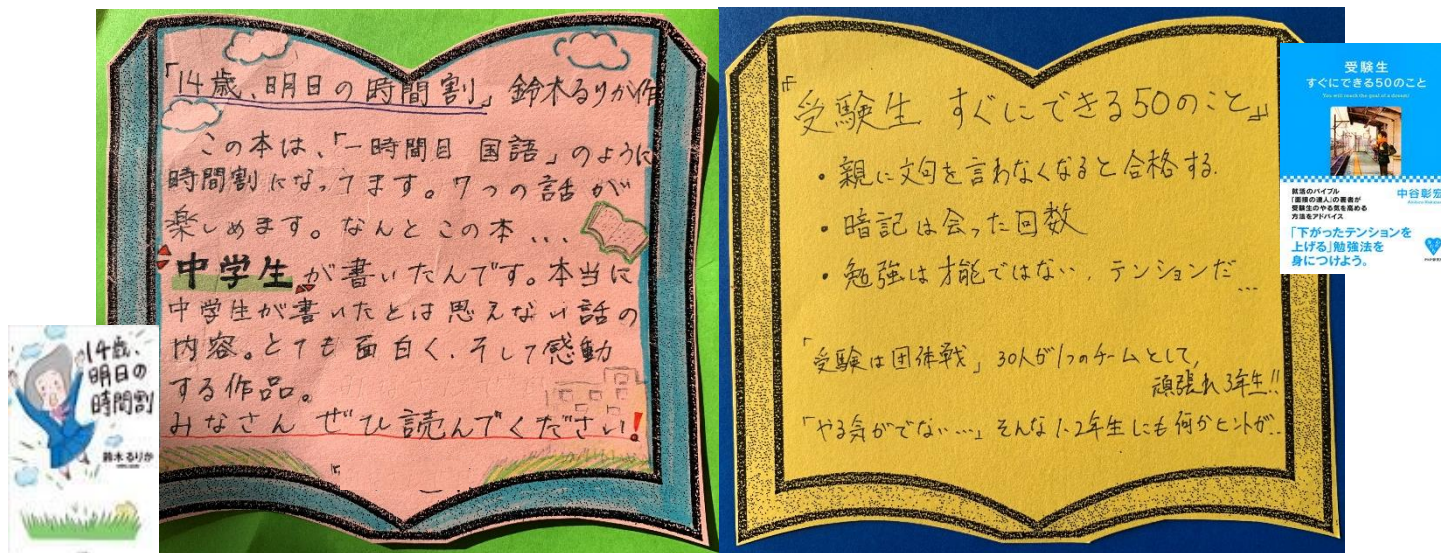
12月の学習部おすすめ本

2年 N・Hさん

「14歳、明日の時間割」 鈴木るりか著

数学科 I・T 先生

「受験生すぐにできる50のこと」中谷 彰宏著





新着本紹介



『小説ブルーロック⑤』

金城宗幸 著

ブルーロックの二次選考。奪敵決戦によりやく勝利し、天才ストライカー馬狼を獲得した潔と凧。しかし、孤高の一匹狼・馬狼はチームプレーを拒否。己のスタイルで勝ち進むと宣言。次なる相手は千切・玲王・國神のチーム。抜群の連携を見せる相手に馬狼のワンマンプレーでまとまりを欠く潔のチーム。何とか凧の個人技で追いつがるが・・・。



『KYUDO LIFE!』

末羽瑛 著

高校生の天野良治は、ひょんなことから弓の名手として名を馳せた「那須与一」の霊に取り憑かれ、未経験の弓道部へ入部させられてしまう。良治は二人の弓好きに教えられ、インターハイを目指すことに。マイナーと侮るなかれ。キラキラ熱くて最後は泣ける青春弓道物語！



『続窓ぎわのトットちゃん』

黒柳徹子 著

国民的ベストセラー、42年ぶり、待望の続編!国内で800万部、全世界で2500万部を突破した『窓ぎわのトットちゃん』。世界中で愛されている、あのトットちゃんが帰ってきた!泣いたり、笑ったり…。トットの青春記。TVでおなじみの、黒柳徹子さんの自伝。



『手紙屋 蛭雪編』

喜多川泰 著

この本の主人公「和花」は、部活と友だち付き合いに明け暮れる高校2年生。夏休みを目前にしたある日、進路のことで父親と衝突してしまいます。成績が足りない。勉強しなきゃと思うけど、やる気になれない…。そんな和花に兄の喜太郎が紹介してくれたのが、謎の人物手紙屋。十通の手紙をやりとりすることで、夢を実現させてくれるというのですが…。「手紙屋」とのやりとりを通じ和花はどのように変わっていくのか？



『凧の弦音』

我孫子武丸 著

弓道一筋の高校一年生・篠崎凧は引退した恩師の家で起きた殺人事件を解決に導いたのをきっかけに、「天才弓道美少女」として世間からもてはやされるように。身の回りで起こるちょっとした事件に巻き込まれるたび、凧は葛藤しながらも真摯に向き合っていく。弓道に、友情にひたむきに挑み、成長していく爽やかさ満点の青春ミステリー!



『しっぽの殻破り』

福徳秀介 著

キングオブコント2020優勝のジャルジャルの福徳秀介は、知る人ぞ知る文芸の名手。今回、短編小説にて、その文才を発揮。ふとした瞬間をユニークな視点で切り取り、小さな感情の波を小気味よく言語化し、物語のゴールは爽快に駆け抜ける、粒選りの短編ばかり。



『願いを叶える雑貨店黄昏堂①・②・③』

桐谷直 著

地図には載らない。探そうとしても見つからない。幸運で不運な者、不運で幸運な者だけが、黄昏時にたどり着く。店の名は【黄昏堂】。欲しいものに貼り付けると自分のものになる「お名前シール」。幽霊だけが見えるようになる「霊視メガネ」。相手の心の声が聞こえる「聴心器」。不思議なアイテムを「記憶」を対価に売り渡す【黄昏堂】に今日も客人が訪れる。



『魔眼匣の殺人』『兇人邸の殺人』

今村昌弘 著

元研究施設に閉じ込められた11人。この中で4人死ぬ。“死の予言”は成就するのか。『屍人荘の殺人』シリーズ第2弾と入ったが最後、姿を見ることは二度とない。“廃墟テーマパーク”にそびえる奇怪な屋敷。深夜侵入した葉村と比類子を異形が襲う。シリーズ累計100万部突破!『屍人荘の殺人』シリーズ第3弾!!



『ツルネ 風舞高校弓道部』

綾野ことこ 著

中学時代の出来事が原因で弓道から逃げてしまった鳴宮湊は、高校で新しく出会った仲間たちとともに県大会優勝を目指す。しかしそれは簡単なことではなくて……。弓道を通して成長していく彼らの煌めく瞳に心を射抜かれる!弓道青春ストーリー開幕!

